

1	イ	28	②	55	エ
2	ウ	29	ウ	56	×
3	①	30	アルコール	57	二酸化炭素
4	1.1	31	カ	58	イ
5	A	32	×	59	○
6	ウ	33	ブドウ糖	60	さく酸
7	エ	34	エ	61	ウ
8	ア	35	×	62	○
9	1.5	36	水酸化ナトリウム	63	ホウ酸
10	<small>せっかいすい</small> 石灰水	37	キ	64	ア
11	エ	38	○	65	○
12	0.975	39	食塩	66	塩化水素
13	オ	40	エ	67	イ
14	エ	41	○	68	○
15	①	42	石けん	69	硫酸
16	エ	43	キ	70	ウ
17	水	44	○	71	○
18	③	45	灰		
19	A	46	キ		
20	イ	47	○		
21	⑦	48	重そう(炭酸水素ナトリウム)		
22	②	49	キ		
23	イ	50	○		
24	オ	51	水酸化カルシウム		
25	⑥	52	キ		
26	B	53	○		
27	オ	54	砂糖		

1	アンモニア	28	20	55	20
2	ク	29	7.1	56	25
3	○	30	オ	57	15.2
4	塩化ナトリウム(食塩)	31	ア・イ	58	食塩
5	塩化カルシウム	32	ア・ウ・エ・オ	59	B・D・F
6	硫酸ナトリウム	33	ア・イ・エ・オ	60	A
7	塩化アンモニウム	34	イ・オ	61	1.75
8	炭酸カルシウム	35	水素		
9	②	36	水素		
10	③	37	ア・エ・カ		
11	⑤	38	イ		
12	②・③	39	ウ		
13	塩酸・水酸化ナトリウム水溶液	40	ア		
14	ストローを使って息をふきこむ	41	37.5		
15	ア	42	青		
16	エ	43	食塩と水酸化ナトリウム		
17	A	44	飽和水溶液		
18	70	45	$C > B = D > A$		
19	20	46	$B > A > D > C$		
20	35	47	A		
21	30	48	75		
22	15	49	12.0		
23	45	50	10.1		
24	27	51	36.1		
25	16.3	52	15.1		
26	4.9	53	92.4		
27	10	54	24		

1	36	28	10	55	32
2	ウ	29	5	56	480
3	エ	30	②, ⑥	57	水蒸気
4	ア	31	イ	58	6
5	カ	32	ア	59	2
6	エ	33	⑥		
7	ウ	34	ア		
8	イ	35	蒸し焼き		
9	ウ	36	イ		
10	225	37	イ・ウ・エ		
11	イ	38	エ		
12	17.3	39	ウ		
13	0.4	40	完全燃焼		
14	13.5	41	2.4	41の解説	
15	375	42	8.0	1回目…9.6g=皿+銅1 ⇨10.0g=皿+銅1+酸素1	
16	35	43	3.2	2回目…12.8g=皿+銅2 ⇨14.0g=皿+銅2+酸素2から、	
17	食塩	44	ウ	酸素1=0.4g 酸素2=1.2gが求まるため、	
18	食塩	45	ア	酸素1:酸素2=1:3になっていることが分かる。	
19	食塩と水酸化ナトリウム	46	オ	この比は銅1:銅2=①g:③gを意味するから、	
20	36	47	0.7	9.6g=皿+銅1=皿+①g	
21	0.27	48	1.65	12.8g=皿+銅2=皿+③g から	
22	8000	49	3/8	②g=12.8g-9.6g=3.2gが求まる。	
23	200	50	2.6	これより銅1=①g=1.6gと反応する酸素=0.4gが分かる。	
24	9000	51	8.0	よって9.6gの銅と反応する酸素は0.4g×9.6/1.6g=2.4g	
25	2250	52	1.5	になる。	
26	50	53	45	42の解説	
27	0.1	54	80	皿の重さ=9.6g-①(=1.6g)=8gになる。	